

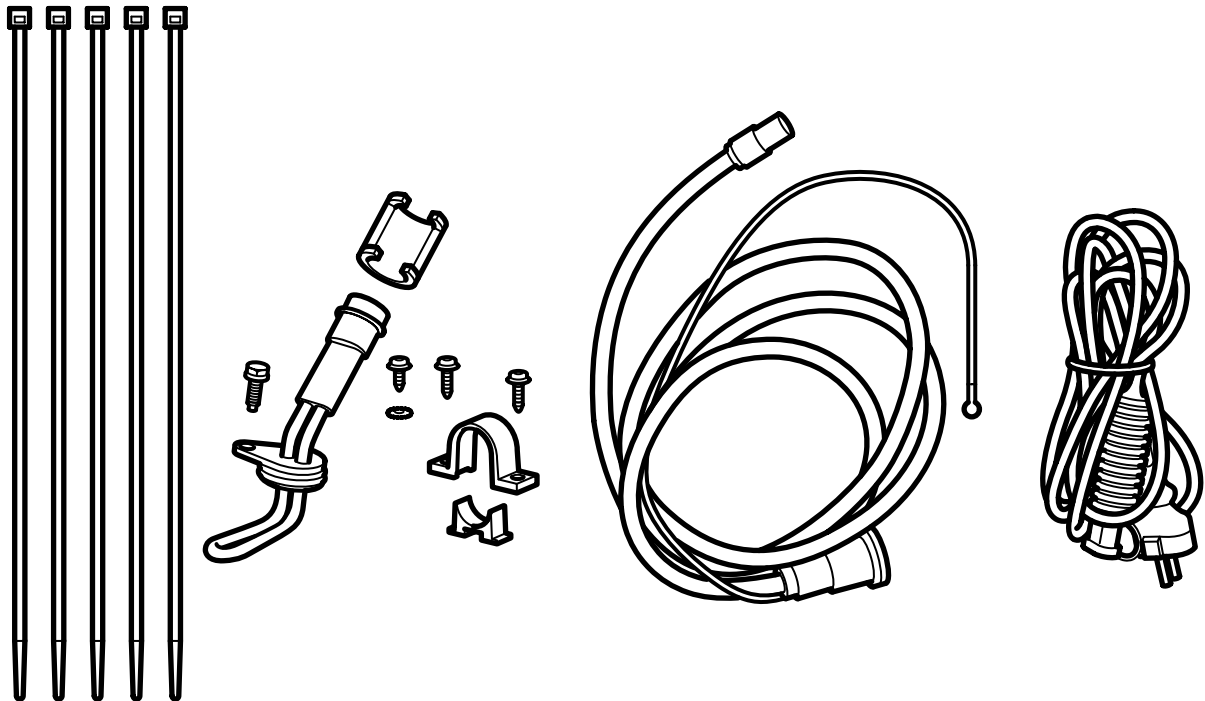


**MONTERINGSANVISNING · INSTALLATION INSTRUCTIONS
MONTAGEANLEITUNG · INSTRUCTIONS DE MONTAGE**

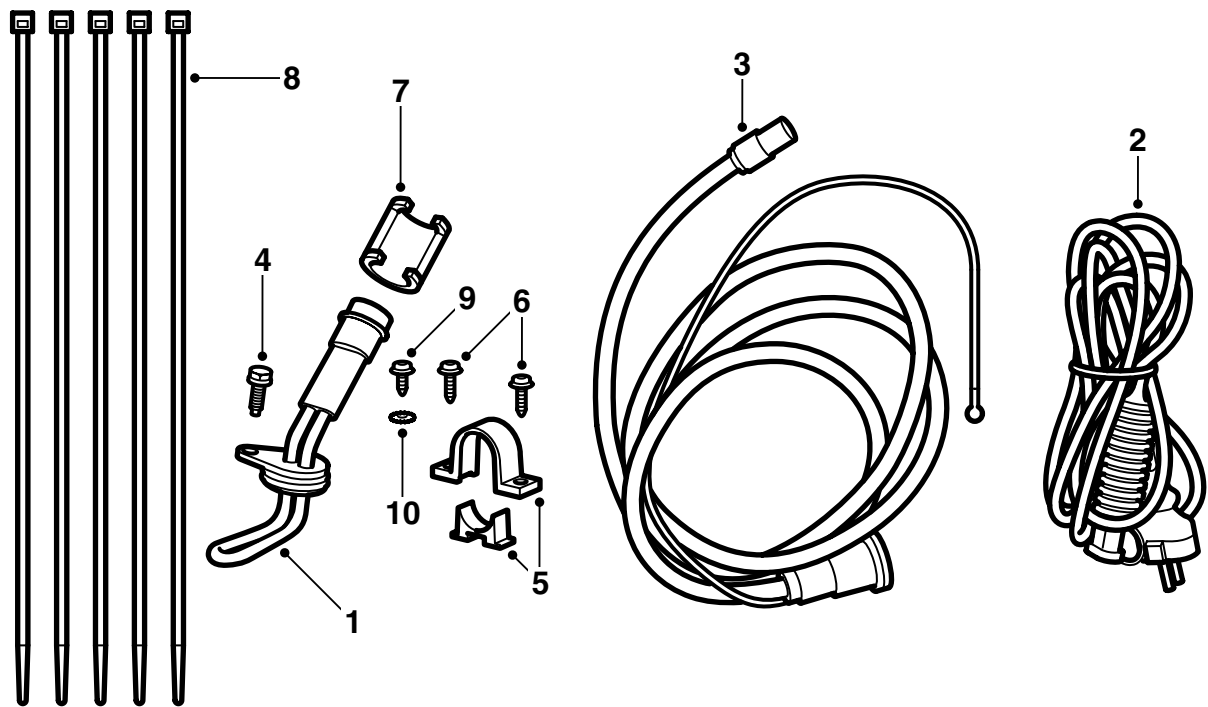
Saab 9-3 B207 M03-

パーキングヒーター

Accessories Part No.	Group	Date	Instruction Part No.	Replaces
32 025 697	9:87-34	Jan 06	12 788 900	12 788 900 Mar 04

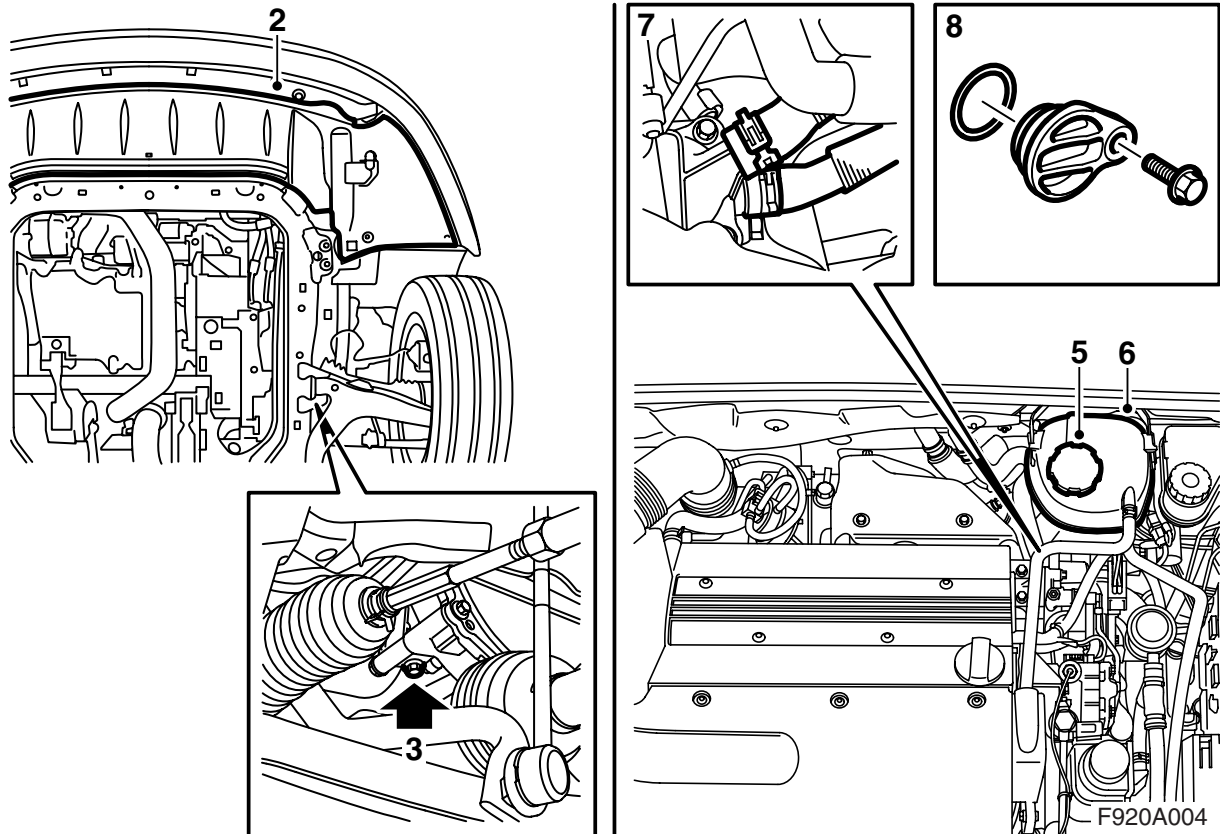


F920A040



F920A003

- 1 発熱体
- 2 接続ケーブル
- 3 インテークケーブル付きインテークコンタクト
- 4 ボルト M6 x 16
- 5 ホルダー
- 6 ネジ (x2)
- 7 クリップ
- 8 ケーブルタイ (x5)
- 9 ネジ
- 10 スターワッシャー

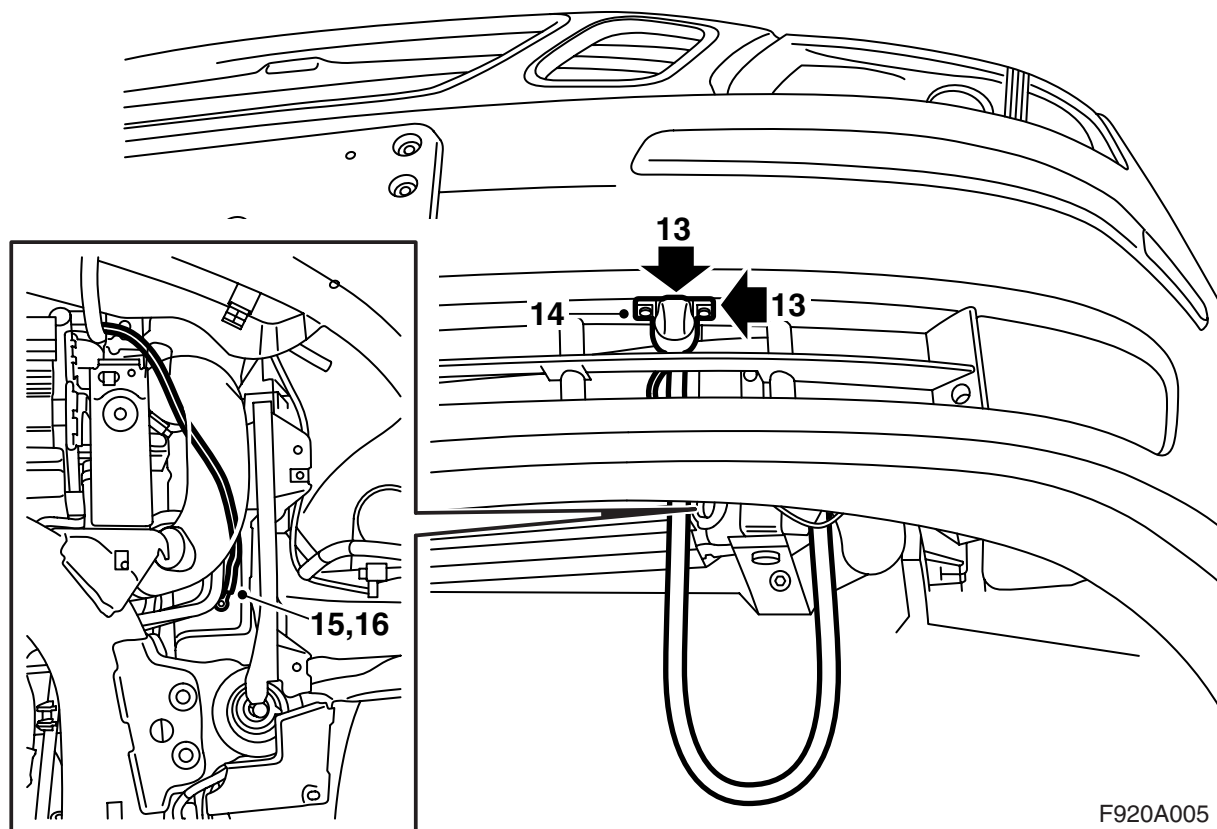


- 1 車両を上げる。
- 2 スпойラーシールドを取り外してバンパーのコネクターを分離し、コネクターをスポイラーシールド上のホルダーから取り外す。
ヘッドライトウォッシャー装備車：スポイラーシールドからホースの留めを外す。
- 3 エンジンの下に受け皿を配置し、冷却液ポンプ下面のドレーンプラグを開き、冷却液を抜き取る。
- 4 車両を下ろす。
- 5 エキスパンションタンクのキャップを取り外す。
- 6 エキスパンションタンクの留めを外してタンクを脇に除けておく。
- 7 サーモスタットハウジングとエキスパンションタンクの間接続されている冷却液ホースをサーモスタットハウジングキャップの継手から取り外し、そのホースの真下に接続されている冷却液ホースを取り外す。
- 8 既に取り外した各冷却液ホース用の各継手の下方にあるキャップを取り外す。
- 9 塩基性ワセリンをパーキングヒーターのOリングに塗布し、ヒーターをサーモスタットハウジング内に挿入してキットのボルトと共に取り付ける。
締め付けトルク：10 Nm (7.5 lbf ft)
- 10 車両を上げる。
- 11 ドレーンプラグを冷却液ポンプ下面に取り付ける。

重要事項

Oリングは、サーモスタットハウジング内部に引っかかる場合があるが、このリングは取り外さなければならない。

このボルトはパーキングヒーターと一緒に取り付けることが認められていないため、破棄しなければならない。

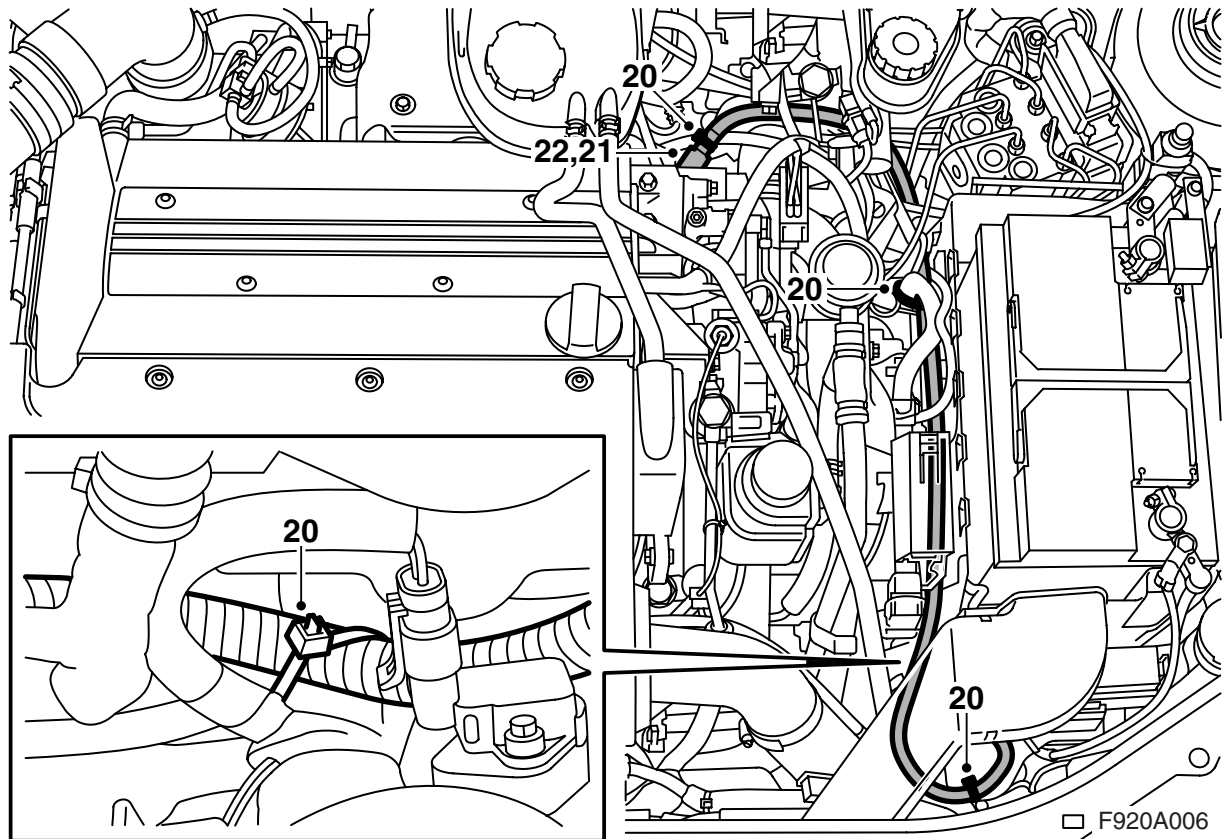


- 12 適切な作業高さまで車両を下げ、インテークケーブルを下部グリルの格子に通し、各パイプの間ならびにラジエーターコアとコアの左ブラケットの間に敷設する。
- 13 ホルダーのフロントエッジがバンパーシェルの線と一致し、開口部の中心となるようにしてホルダーをバンパー下面に配置することにより、コネクタプラグ用ホルダーを配置すべき場所をマークする。このときホルダー上の矢印が前方を向くようにすること。ケガキ針で穴をあける。
- 14 インテークコンタクトをホルダーに配置する。ふたが上向きに開くようにする。ホルダーをバンパーに取り付ける。
- 15 **M03-04:** 3.5 mm のドリルで、構造メンバーにアースケーブル用の穴をあける。
M05-: 構造メンバー上に位置している分岐コネクタを分離する。3.5 mm のドリルで、構造メンバーにアースケーブル用の穴をあける。
- 17 ラジエーターとチャージエアホースの間を上方に向けてインテークケーブルを敷設し、さらに構造メンバーの側面をまっすぐ上へ敷設する。
M05-: 構造メンバー上に位置している分岐コネクタを接続する。
- 18 車両を下ろす。

重要事項

この穴は、角穴のすぐそばにあける必要がある。

- 16 アース接続を完全なものにするため塗装をきれいにかき落とし、ボルトおよびスターワッシャー（スターワッシャーはアース線端子とボディの間に配置すること）を使ってアース線をしっかりとボルトどめする。パーツ番号 30 15 971 の浸透性防錆剤を塗布する。

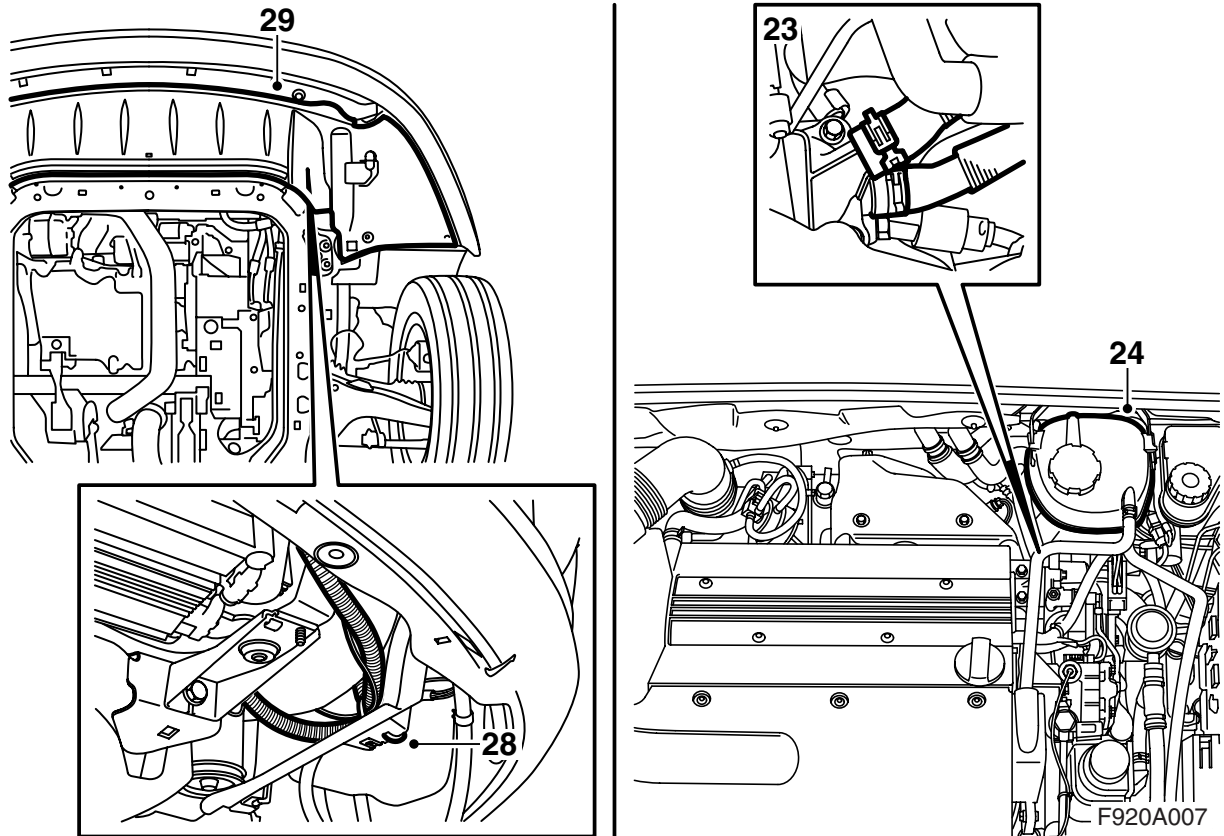


- 19 ラジエーターの左側を上方に向けてコネクタケーブルを敷設し、ケーブルはラジエーターの上部左マウンティングにケーブルタイで固定する。
- 20 ラジエーターのエア抜きホース越しに下に向けてコネクタケーブルを敷設し、バッテリートレイ下面に沿って後方にパーキングヒーター配置方向に敷設する。ケーブルタイでコネクタケーブルを固定する。
- 21 パーツ番号 30 15 286 の塩基性ワセリン、または同等のものをコネクタケーブルのOリングに塗布して、ケーブルをパーキングヒーターに接続する。

⚠ 警告

接続する前にインテークケーブルのOリングを潤滑し、接続箇所は全てしっかりはめ合わせておくことが重要である。接触不良は、発熱や火災の原因となることがある。

- 22 ロッククリップを接続部に取り付ける。クリップが正しく取り付けられると、カチッという音がする。



- 23 各冷却液ホースを接続する。
- 24 エクспанションタンクを取り付ける。
- 25 冷却液を充填し、エクспанションタンクのキャップを取り付ける。システムに漏れがないことを確認する。
- 26 冷却システムのエア抜きを下記のように行う：

注記

AC/ACC が OFF の状態にあること。

冷却システムを MAX レベルまで補充する。エクспанションタンクのキャップを閉め、エンジンを始動し、冷却ファンが回転し始めるまでエンジンの回転速度を変えながら暖機回転する。気を付けてエクспанションタンクのキャップを開け、MAX レベルまで補充する。キャップを閉める。エンジンを止め、必要に応じて MAX レベルまで補充する。

- 27 車両を上げる。
- 28 コネクターケーブルの余剰分をチャージエアホースと樹脂シールドの間に配置する。ケーブルタイで固定する。
- 29 スポイラーシールドをリフトアップし、バンパーのコネクターをホルダーに取り付け、コネクターを接続する。
ヘッドライトウォッシャー装備車：ホースをスポイラーシールドにしっかり留める。
全車：スポイラーシールドを取り付ける。
- 30 車両を下ろす。
- 31 **ヘッドライトウォッシャー装備車：**ヘッドライトウォッシャーが正しく作動することを確認する。

ユーザーの方へ

- 接続ケーブルには、耐油性で屋外使用許可を受けた、断面積が $3 \times 1.5 \text{ mm}^2$ 以上のゴムケーブルを使用して下さい。
- ヒーターシステムは、アース付きコンセントへの接続のみが認められています。
- ケーブル類は慎重に取り扱って下さい。特に、ボンネットと車体間に挟まったり、鋭い金属部品などに触れると損傷する恐れがあるのでご注意下さい。



警告

感電を回避するため、コネクタプラグのアースピン、ヒーターハウジング、車のボディの間のアース接続を定期的に点検して下さい。

- アースケーブルに損傷や老化が見られないか、定期的に点検して下さい。損傷したケーブルは直ちに交換して下さい。

注記

下記の場合、ヒーターの機能が劣化する恐れがあります：

- 冷却液が汚れている場合
- 冷却液レベルが不十分であるか、システムに空気が入っている場合
- システムにみぞれ状態の氷がある場合
- ラジエーターシールが使用されている場合